



SUITA ESAKA ROTARY CLUB

CLUB WEEKLY BULLETIN

創立年月日 / 1990.2.27
事務所 / 〒564-0063 吹田市江坂町1丁目23番101号(大同生命江坂ビル12F)
TEL06(6821)0222 FAX06(6821)0206 E-mail:saka-rc@lake.ocn.ne.jp

例会場 / 新大阪江坂 東急イン・3F 〒564-0051 吹田市豊津町9番6号 TEL06(6338)0109 例会日 / 毎週火曜日 12:30~13:30
会長: 渡辺 忠雄 幹事: 西本 健二 会報委員長: 速見 憲

2009年10月13日 第925回例会(第924号)

本日の例会

今週の歌 「それでこそロータリー」

国際ロータリー第2660地区

大森保子ガバナー補佐訪問

「クラブ協議会」

次回例会のお知らせ(10月20日)

卓話 「私の職業」

~ 会員交流のためのスピーチ ~

芳賀、原、橋本、速見、堀田 各会員

前回【10月6日】例会記録

会長の時間

渡辺 会長

皆様、こんにちは。

今月10月は、職業奉仕月間、米山月間となっておりますので、米山奨学会について話させていただきます。

国内で学ぶ外国人留学生を支援する、日本の全ロータリークラブによる「他地区合同奉仕活動」です。これまでに支援した奨学生は、116か国で15,130人にのぼり、日本の民間奨学財団では最大規模となっております。そもそも、米山奨学事業は、1952年に東京RCが、日本のロータリーの父、米山梅吉の功績をしのぶために何か有益な事業として始まりました。

世界に平和日本を理解してもらうためには、まずアジア諸国の理解を得なければならない。アジアから一人でも多くの留学生を迎え入れ、平和を求める日本人と出会い、互いに信頼関係を築くことが、日本のロータリーに最もふさわしい国際奉仕事業では

出席報告

木元 委員

【10月6日】

在籍会員 43名 (内出席規定適用免除者 9名)

出席会員 29名 (内出席規定適用免除者 5名)

ホームクラブ出席率 74.36%

9月8日のMUを含む出席率 95.00%

ないか。

東京RCで始められた「米山基金」が、全国のロータリークラブの合同事業として広がりました。

特別寄付金のご協力よろしく申し上げます。

幹事報告

西本 幹事

仮称「関西大学ローターアクトクラブ」創立総会の開催日程が決まりましたのでお知らせします。

日時：平成21年11月7日(土) 開会14:00

場所：関西大学 千里山キャンパス 第1学舎
文学部 E-502

先月、台湾南部の風水害に対する見舞金を当クラブから台北龍門RCへ送りましたが、次のようなお礼状が届きましたので報告します。

吹田江坂ロータリークラブの皆様へ

私たちは最近(8月)の風水害の被害者に対する寄付金をいただき、吹田江坂ロータリークラブにたいへん感謝しております。

あなた方の支援金はこれらの不幸な被害者に対する偉大な愛と同情を現しています。

今回、貴クラブと私たち台北龍門RCは合わせ合計で1.2million NTD (US\$37,500 約340万円)を寄付しました。

高雄県の政府と協議をして私たちはこの寄付金を市民の上水道施設の復旧に使用します... 添付の写真を見て下さい... 吹田江坂ロータリークラブの名前もこれらのタンクの一部に印刷されます。

ロータリーとは、他人に対する思いやりと、他人のためにつくすことである。

そして、地方政府からは親切な支援に対する感謝状が貴クラブへ送られると思います。

新しい情報が入り次第、またお知らせします。
ありがとうございました。



2009.10.01 台北龍門ロータリークラブ

ニコニコ箱

栢本会員 息子に長男誕生しました。ヤレヤレです。

木元会員 結婚記念日のお祝い、ありがとうございます。

成松会員 母の手首骨折の手術無事終了。一安心です。ドクターに感謝です。

庄瀬会員 前回欠席並びに本日早退のおわび。

山崎会員 大型台風が来てます。みなさん気をつけて下さい。防水屋より

八橋会員 早退します。

本日分 32,000円

累計 332,000円

10月お誕生日

8日 芳賀 洋 会員

10日 加藤 正樹 会員

25日 速見 憲 会員

26日 渡 遣 眞 会員

10月ご夫人お誕生日

1日 長島 正恵 様

1日 北村 典代 様(北村(雅)会員)

12日 山崎 和子 様

29日 速見 京子 様

30日 西山 美智子 様

10月結婚記念日

2日 橋本 豊 会員

3日 木元 良三 会員

10日 田中 茂晴 会員

15日 米谷 正夫 会員

18日 田口 長兵衛 会員

22日 杉本 全司 会員

26日 山崎 睦治 会員

奉仕活動委員会

内田 副委員長

(職業奉仕担当)

本日、ボックスに「ロータリーの真髄 職業奉仕を語る」という冊子を配付いたしましたが、今月は職業奉仕月間でもあり、ロータリーの真髄ともいべき職業奉仕の理念の理解と日頃の奉仕活動に役立てていただければ幸いです。

卓話

「米山月間に因んで」 西上博幸 委員

(米山担当)

今月は、米山月間でございますので、前半は「豆辞典」に沿って事業の説明と後半は、中国、台湾、モンゴル、ネパール、日本を舞台に顕著な活躍を遂げる米山学友たち5人をDVDにて紹介いたします。

ロータリー米山奨学事業は、日本のロータリー独自の「多地区合同奉仕活動」として、毎年全国のロータリアンからの寄付金で運営され、外国人留学生に奨学金を支給しております。支援している奨学生は年間800人で、累計で約1万5,000人です。特長として、一つのロータリークラブが、米山奨学生を奨学期間中受け入れる世話クラブ制度と、世話クラブ会員の一人が、奨学生の良き相談相手として精神面での支えとなるカウンセラー制度があります。この事業は東京RCの単独事業から日本全国に展開していきました。2008-09年度の寄付金収入は、14億9,400万円です。支出の内最も大きいものは、奨学金の12億5,000万円です。寄付金には、クラブや地区で決定した金額を会員数分寄付する「普通寄付金」と個人、法人から出していただく「特別寄付金」があります。特別寄付金は、表彰の対象となります。また、米山記念奨学会は、「特定公益増進法人」に認定され、所得税・法人税の税制優遇が受けられます。

米山奨学事業は、日本のロータリアンが築き上げた、国際平和につながる奉仕活動です。海外に行くまでもなく、日常生活の中で、国際交流を実現することができます。奨学生に日本の本当の姿、ロータリーの心を伝えてください。また、奨学期間が終わっても、お互い連絡を取り合うようにしましょう。